

## MSAT（宮崎県ソーシャルアクションチーム）

### 【MSAT 発足の背景】

社会福祉士のほとんどは、所属機関の職員として日々業務を行っている。それぞれの所属機関で社会福祉士として役割を果たしているが、低待遇の条件に加えて所属機関の仕事で手一杯であることや、職務規定上外部活動に対する制限（禁止）等による理由から、職務以外（社会問題等）に目を向けることが難しくソーシャルワーカーとして不全感を感じている社会福祉士も少なくない。また、所属機関によっては、機関内で社会福祉士の業務が十分理解されておらず、かつ相談できる社会福祉士がいない場合も多く、ソーシャルワーカーとして活躍することを諦める現状もある。こうした現状では、社会福祉士としての専門性を発揮することができず、ソーシャルワークが必要なところに届かない恐れがあることから、このような現状を打開するために MSAT（宮崎県ソーシャルアクションチーム）を組織するに至った。

### 【MSAT の目的】

MSAT は以下 4 点を目的として活動する。

- ①社会福祉士がソーシャルワーカーらしく専門性を発揮するための支援。
- ②社会福祉士が社会福祉士を支える体制の構築。
- ③社会問題や日々業務で関わる対象者の抱える問題からソーシャルアクションを必要とする課題を抽出する体制の構築。
- ④広く社会に目を向けたソーシャルアクションの実践。

### 【MSAT の活動】

MSAT の活動は大きく分けて内部に向けた取り組みと外部に向けた取り組みを行う。

（内部に向けた取り組み）

- ・ソーシャルアクションについての理解促進を目的としたシンポジウムの開催
- ・社会福祉士会会員同士の交流会（不全感の解消）
- ・社会福祉士会会員同士が気軽に相談できるシステムの構築
- ・会員が抱える葛藤や問題意識の収集

（外部に向けた取り組み）

- ・社会福祉士の専門性や業務範囲を整理した冊子の作成・配布
- ・社会福祉士会の活動や成年後見人等の外部活動禁止規定の緩和に向けた取り組み
- ・クライアントのニーズに合わせたシステムを構築するため、制度政策への提言
- ・社会問題に対するソーシャルアクションの取り組み
- ・社会福祉分野で働く人々の待遇、職場環境改善のための取り組み

例) 生活保護基準引き下げ訴訟 スクールソーシャルワーカーの待遇改善

成年後見人の医療同意 等

※活動はチームメンバーと一緒に検討する。



～チームメンバーは、経験年数問わずソーシャルアクションに意欲のある方～